

事業コード	01050102		政策コード	01	政策名	秋田の未来につながるふるさと定着回帰戦略						
事業名	未来へつなく「元気ムラ」活動推進事業		施策コード	05	施策名	活力にあふれ、安心して暮らすことができる地域社会づくり						
			指標コード	01	施策目標(指標)名	地域住民や市町村との連携による地域コミュニティの維持・活性化						
部局名	あきた未来創造	課室名	地域の元気創造課活力ある集落		班名	元気ムラ支援班	(tel)	1215	担当課長名	田原 剛美	担当者名	夏井 大助

評価対象事業(計画)の内容

1. 事業立案の背景(施策目標の達成のために今なぜこの事業が必要なのか) 人口減少や高齢化の進行により、従来からの地域コミュニティ活動が困難になってきている。そのため、地域住民が住み慣れた地域で安心して暮らし、いつまでも活き活きと活動し、地域の自立と主体的な運営のできる地域づくりや集落の維持・活性化の推進などが求められている。					3. 事業目的(どういう状態にしたいのか) 人口減少社会において、地域住民自らが地域の維持・活性化に向けて取り組む「元気ムラ」活動を県全域へ拡大する。 (重点施策推進方針との関係) 重点事業として要望 その他事業として要望							
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2. 住民ニーズの状況 ニーズを把握した対象 受益者 一般県民 (時期: H29 年 10 月) ニーズの把握の方法 アンケート調査 各種委員会及び審議会 ヒアリング インターネット その他の手法 (具体的に) ニーズの具体的な内容 地域コミュニティの状況に関するアンケート調査によると、「今後の地域コミュニティ対策上の課題」について、「担い手不足による活動の停滞」、「地域住民の主体的な取組」、「支援する行政職員の意識、体制」との回答があることから、地域コミュニティ活動を活発にする施策とともに、支援体制の充実や職員のスキルアップについてニーズがあると捉えている。				
--	--	--	--	--

4. 目的達成のための方法 事業の実施主体 県、地域コミュニティ政策推進協議会 事業の対象者・団体 市町村、集落等の地域団体、地域住民 達成のための手段 県と市町村による支援体制の充実のため、情報共有やスキルアップ研修等を行う。また、集落の活性化と課題解決のため、市町村の枠を超えた集落同士の交流や集落活動の情報発信の推進により、住民の主体的な取組を行う「元気ムラ」活動の拡大を図る。				
---	--	--	--	--

把握していない場合の理由及び今後の方針 理由 今後の方針				
---	--	--	--	--

比較した代替手段及び選択した手段の有効性 「元気ムラ」活動の拡大には、支援を行う職員の更なるスキルアップや集落活動の情報発信の強化など、これまでの取組の更なる充実を中心とした手段が有効である。									
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

5. 事業の全体計画及び財源 単位(千円)

順位	事業内訳	左の説明	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	全体(最終)計画
01	地域コミュニティ政策推進事業	地域コミュニティの支援体制の充実を図るため、県と市町村で構成する「秋田県地域コミュニティ政策推進協議会」等を開催する。	1,498	1,498	1,498				4,494
02	広域的集落間交流推進事業	集落活動の一層の活性化や課題解決を図るため、「あきた元気ムラ大交流会」の開催等により市町村の枠を超えた集落間交流を推進する。	1,235	1,235	1,235				3,705
05	集落活動情報発信促進事業	集落支援員による地域情報等の掘り起こしを進めるとともに、県のウェブサイト(がんばる農山漁村集落応援サイト)を活用した集落活動の積極的な情報発信を推進する。	6,189	6,189	6,189				18,567
財源内訳			8,922	8,922	8,922				26,766
国庫補助金									
県債									
その他			13	13	13				39
一般財源			8,909	8,909	8,909				26,727

6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果		「元気ムラ」活動の県全域への拡大							
指標	指標名	元気ムラ活動を進めている地域コミュニティの数						指標の種類	
	指標式	県ウェブサイト登録集落数 + 集落点検実施集落数 + 総務省事業実施集落数 + その他元気ムラ活動実施集落数						成果指標 業績指標	
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	最終年度
	目標a		920	1,035	1,160	1,270			1270
	実績b	776	データ等の出典						
	東北 全国	活力ある集落づくり支援室調べ							
把握する時期		当該年度中		月	翌年度	03月	翌々年度	月	

指標	指標名								指標の種類
	指標式								成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	最終年度
	目標a								
	実績b		データ等の出典						
	東北 全国								
把握する時期		当該年度中		月	翌年度	月	翌々年度	月	

指標を設定することができない場合の効果の把握方法
 指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性
 急速に進行する人口減少や高齢化により困難となってきた地域コミュニティ活動を活性化するためには、地域住民による主体的な運営ができる元気ムラ活動が求められており、県全域への拡大を推進する必要がある。

住民ニーズに照らした事業の必要性
 地域コミュニティ活動を維持・活性化するには、地域住民が主体的な取組を進めるための支援が求められている。

事業の県関与の必要性
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

地域コミュニティ政策を行う市町村をサポートし、地域コミュニティの活性化を県全域へ広めるため、県による広域的な支援が必要である。

政策評価委員会意見

重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

重点事業

その他